

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水田作が主体の中山間地域。
- 高齢化等により農業者数が年々減少しており、農地の出し手が増加する一方で、受け手となる担い手の育成・確保が課題。

【支援内容・背景】

- 津山市では、地域の農業者と農業関係団体とが連携し、担い手の育成・確保を推進している。
- 当該地区では、中心経営体である助成対象者が農地集積をし、水田農業の維持・発展を目指している。

岡山県



津山市津山東地区

助成対象者「(農)アグリ堀坂」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成15年 圃場整備事業を契機に、堀坂地域の6つの転作組合を1つにまとめ、堀坂営農組合を設立。水稲中心に機械の共同利用や作業受託を実施。
- 平成18年 更なる経営の効率化を目指して農事組合法人アグリ堀坂を設立。(構成員88人)大豆の連作障害の軽減を図るため、地区内を3ブロックに分けたブロックローテーションを実施。小麦、飼料用米にも取り組む。
- 平成23年 経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○経営面積の拡大および収量増加に取り組む中で、色彩選別機の導入により品質向上を図り、収入増加を目指す。

【事業実施時の状況】
〈H30年度〉

○売上高	39百万円
○経営面積	22.5ha
水稲	17.2ha
うち飼料用米	3.2ha
小麦	3.7ha
大豆・野菜等	1.6ha

《事業による整備内容》

- 色彩選別機 1台
- 事業費 3,450千円
- (国費 958千円)



【現在の経営状況】
〈R2年度〉

○売上高	40百万円 (103%)
○経営面積	27.6ha (122%)
水稲	19.7ha
うち飼料用米	3.5ha
小麦	6.0ha
大豆・野菜等	1.9ha

事業の
効果

- 作付面積のさらなる拡大が実現し、良品質な米の生産が可能となったことで売上高の増加が実現
- 地域の米生産体制の強化が図られたことにより、安定した経営を可能とする経営体モデルが確立